



文化庁委託事業「文化ボランティアフォーラム 2009in 滋賀」

# 次世代の文化力を育む

## ～芸術と教育の連携 新たな挑戦！～

日時：2009年10月18日(日)～19日(月)

会場：10月18日 滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール / 10月19日 滋賀県草津市立志津南小学校

参加者：全国の文化ボランティア、NPO関係者、文化施設関係者、文化・教育行政担当者・学校・大学関係者  
文化ボランティア・コーディネーターの育成に関心のある方

主催：しが文化芸術学習支援センター運営委員会 [ 滋賀県、滋賀県教育委員会、他 ]

関西初となる今回のフォーラムでは、新しい文化の担い手となる次世代への文化芸術支援活動に重点を置き、テーマを「次世代の文化力を育む ～芸術と教育の連携 新たな挑戦！～」として、具体的な実践・事例を通じて、芸術と教育の連携のありかた、連携を支える文化ボランティア・コーディネーターの可能性について、おおいに語り合ひましょう。

**10月18日 会場：滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール 小ホール**

13:30～ 受付

14:30～14:40 開会

14:40～15:30 基調講演「芸術と教育の連携のこれから」

講師：国立教育政策研究所教育課程研究センター研究開発部 教育課程調査官  
文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官 奥村 高明

15:40～18:00 事例報告会

コメンテーター：滋賀県立琵琶湖博物館 特別研究員 布谷 知夫

公立文化施設活性化事業アドバイザー 柴田 英杞

コーディネーター：京都橘大学 准教授 木下 達文

<事例報告者>

(横浜市) 横浜市 市民活力推進局 文化振興課 主任調査員 鬼木 和浩

(福岡県) アートサポートふくおか 代表 古賀 弥生

(東京都) NPO 法人 芸術家と子どもたち 代表 堤 康彦

(滋賀県) しが文化芸術学習支援センター トータルコーディネーター 津屋 結唱子

18:20～20:00 情報交換会 会場：レストランオペラ (びわ湖ホール内)

※ホテル大昌草津 行き 送迎バス有り

**10月18日 びわ湖ホール 入場無料**

スペシャルメニュー

びわ湖ホール声楽アンサンブルによる子どものためのミニコンサート&オペラ「泣いた赤おに」ワークショップ

11:00～11:50 ミニコンサート (小ホール)

13:00～14:00 オペラ「泣いた赤おに」・ワークショップ (中ホール)

子ども向け学校公演 新メニュー初公演 (19日公開連携授業の事前学習)

8：30～ 受付

8：50～9：20 公開講演「地域社会と連携した医学教育」

滋賀医科大学 学長 馬場 忠雄

9：30～11：20 1年生～6年生公開連携授業

滋賀県立陶芸の森 : 1年生 / 『「おおきなかぶ」のおはなしえざらをつくろう』図工・国語

2年生 / 『「ともだちたぬちゃん」をつくろう』図工

特別支援学級 / 『つんでつんでたかくたかく つんでつんでもっとたかく』図工

びわ湖ホール : 3年生 / 『「泣いた赤おに」をびわ湖ホールで発表しよう!』音楽・道徳

しが県民芸術創造館 : 4年生 / 『ミュージカル「こわれた千の楽器」の公演をしよう』国語・音楽

パナソニック(株) : 5年生 / 『冷蔵庫って、どんなふうに見えるの?そこにかくされた秘密は?』社会

滋賀医科大学 : 5年生 / 『いま生きているわたしを感じよう』道徳

特別講師 滋賀医科大学 学長 馬場 忠雄

MIHO MUSEUM : 6年生 / 『とびこめ!伊藤若冲ワンダーランドへ』社会・図工

特別講師 MIHO MUSEUM 館長 辻 惟雄

11：25～12：10 特別講師 滋賀県知事 嘉田由紀子：

4年生 / 『昔の人々のくらしから ～水を大切に知る知恵～』社会

12：20～13：20 昼食・休憩

13：30～15：00 パネルディスカッション 「次世代の文化力を育む」

パネリスト：文化庁 文化部長 清木 孝悦、滋賀県知事 嘉田由紀子、MIHO MUSEUM 館長 辻 惟雄

コーディネーター：滋賀県県民文化課 課長 関 百合子

15：10～16：40 全体討議 「芸術と教育の連携」

プレゼンター：草津市立志津南小学校 校長 馬場 豊

コメンター：文部科学省 教科調査官 奥村 高明、滋賀大学 教授 大嶋 彰

コーディネーター：滋賀県教育委員会 事務局 学校教育課 指導主事 人見 和宏

公開連携授業「とびこめ!伊藤若冲ワンダーランドへ」の授業づくりについて、関係者に解説をしてもらいます。その後、テーマごとに参加者からの質問、意見、公開連携授業の感想などを伺います。

テーマ：「どうやって連携授業をつくっていくのか」

文化施設の役割、芸術家・専門家の役割、教員の役割、

コーディネーターの役割、文化ボランティアの役割

(それぞれの立場から見た連携のあり方)

「子どもの育ち」、「継続可能な仕組みづくり」等の様々な課題について

意見交流をしたいと思います。

16：40～16：50 閉会

## 19 日公開連携授業詳細

### 公開連携授業Ⅰ 2校時 (9:30～10:15)

学年	1年生	4年生	5年生	特別支援学級
題材名 (教科)	「おおきなかぶ」のおはなしえざらをつくろう(図工・国語)	ミュージカル「こわれた千の楽器」の公演をしよう(国語・総合)	いま生きているわたしたちを感じよう(道徳)	つんでつんで たかくたかく つんでつんで もっとたかく(図工)
内容	絵本「おおきなかぶ」の読み聞かせを聞き、お気に入りの場面に自分を入れて、白いお皿に釉薬入りのパスを使い、気持ちをこめてのびのびと描く。	これまで「こわれた千の楽器」(4年生1学期、国語で学習)のミュージカルを練習してきた。21日のしが県民芸術創造館での本番(20日リハーサル)に向けて最後の仕上げをする。	心のノートで、自分の命を振り返り、その命はおおくの人に支えられてきたことを感じ、そこから生命の尊さへの気持ちを高める。	粘土を使って、高くしていくことから、粘土で遊ぶ楽しみと、ものを創り出していくよるこびを体を通して味わう。
連携	読み聞かせグループ 滋賀県立陶芸の森	しが県民芸術創造館	滋賀医科大学	滋賀県立陶芸の森
専門家	陶芸家	歌・演技指導者	特別講師：滋賀医科大学 学長 馬場 忠雄	陶芸家

### 公開連携授業Ⅱ 3校時 (10:35～11:20)

学年	2年生	3年生	5年生	6年生
題材名 (教科)	「ともだちたぬちゃん」をつくろう(図工)	「泣いた赤おに」をびわ湖ホールで発表しよう!(音楽・道徳)	冷蔵庫って、どんなふうにできるの?そこにかくされた秘密は?(社会)	とびこめ!伊藤若冲ワンダーランドへ(社会・図工)
内容	いろいろな楽しい狸を見て、イメージを広げる。粘土を使って自分の思いを工夫しながら作り、「〇〇たぬちゃん」となまえをつける。	道徳の時間に「泣いた赤おに」を勉強して「思いやりの気持ち」をみんなに伝えようと劇にしていこう。びわ湖ホールでの発表に向けて、びわ湖ホールの音楽家の指導により、歌の練習をする。	生活に無くてはならない冷蔵庫に焦点を当て、使いやすさ、エコに関係して、どのような工夫がされているのか、また、どのように作られているのかを課題に持つ。パナソニックの冷蔵庫生産工場を見学に行くための事前学習。	歴史学習の室町から江戸の文化の学習の一環として、「伊藤若冲ワンダーランド」展で水墨画などを鑑賞。そして、これまで学んできた水墨画の技法を使い、身近な素材をもとに水墨画の世界に浸りこんで描く。
連携	滋賀県立陶芸の森	滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール	パナソニック(株)	MIHO MUSEUM
専門家	陶芸家	音楽家		特別講師：MIHO MUSEUM 館長 辻 惟雄 書道家

### 公開連携授業Ⅲ 4校時 (11:25～12:10)・・・参加者全員参観

学年	4年生
題材名(教科)	昔の人々のくらしから・・・～水をたいせつにする知恵～(社会)
内容	これまでに子どもたちは、ゴミの処理、上下水道を施設の見学を通して、学んできている。 次に「昔の人々のくらし」をとりあげ、その生活には人々の知恵が様々なことに働いていることを学習し、ゴミや上下水の学習が「知恵ある生活」という点で結びつけさせ、そこから自分の生活を見直しさせていきたい。 嘉田知事より「一昔前に琵琶湖の水を大切に用いていた人々のくらしぶりや知恵」について話をいただき質問などを通して昔の人々の知恵について知る。琵琶湖博物館の見学へとつなげ、発展させていく。
専門家	特別講師：滋賀県知事 嘉田 由紀子



## 申込み方法

①FAX 077-524-6300 ②郵便・メール

申込み期間:9月1日(火)～10月10日(土) 申込み後、参加費のご入金をお願いします。

郵便口座 名義:しが文化芸術学習支援センター 番号:14620-6814301

入金確認後、受付完了となります。 ※10月10日までにキャンセルの申し出があった場合のみ返金します。

### 参加費

一般	1日参加	1,000円
	2日参加	2,000円
学生	参加日数にかかわらず	1,000円
	18日情報交換会	5,000円 (レストラン オペラ)
	19日昼食	800円 (会場の周りには飲食店が少ないです)

## 参加申込み用紙

お名前 \_\_\_\_\_ 性別 男・女 \_\_\_\_\_ ご所属 \_\_\_\_\_ 一般・学生 \_\_\_\_\_

ご住所 〒 \_\_\_\_\_

TEL \_\_\_\_\_ FAX \_\_\_\_\_

メールアドレス \_\_\_\_\_

参加プログラムと料金 (参加、または利用の場合に○を記入願います)

<一般>

<学生>

参加/利用の場合に○	プログラム	料金
	18日 ミニコンサート	無料
	オペラ 「泣いた赤おに」	無料
	基調講演/事例報告会	1,000円
	情報交換会	5,000円
	19日 送迎バス JR 瀬田駅発 (予定)	無料
	公開講演・連携授業	1,000円
	パネルディスカッション・全体討議	
	昼食	800円
	合計	円

参加/利用の場合に○	プログラム	料金
	18日 ミニコンサート	無料
	オペラ 「泣いた赤おに」	無料
	18日 情報交換会	5,000円
	18日 基調講演/事例報告会	
	19日 公開講演・連携授業	1,000円
	パネルディスカッション・全体討議	
	19日 送迎バス JR 瀬田駅発 (予定)	無料
	昼食	800円
	合計	円

<宿泊予約> 事務局で予約→チェックアウト時にご本人お支払い。

※下記のいずれかにチェックをお願いします。

<input type="checkbox"/> 禁煙	①瀬田アーバンホテル 7,850円 (シングル朝食付)
<input type="checkbox"/> 喫煙	
<input type="checkbox"/> 禁煙	②ホテル大昌草津 6,300円 (シングル朝食付)
<input type="checkbox"/> 喫煙	

お問い合わせ  
申込み先

しが文化芸術学習支援センター

〒520-0044 滋賀県大津市京町三丁目4-22 TEL:077-525-9995 FAX:077-524-6300

Mail: shiga-aspo@shiga-bunshin.or.jp HP: [http://www.shiga-bunshin.or.jp/division/support\\_center/index.html](http://www.shiga-bunshin.or.jp/division/support_center/index.html)